

101 われらから去り去りたまえ

1. コラール合唱

われらから去り去りたまえ
厳しい刑罰と大きな難難
われらの罪の報い
ことごとく自ら招いたものとなり
守りたまえ戦争と飢饉から
疫病と火災と大きな難難。

2. アリア テノール

あなたの義の掟により、
悪しき僕なる私を裁かないでください。
敵を奮い立たせないでください。
いと高き方われらの願いを聞いてください。
われらの罪の行いを裁かないで
エルサレムのように滅ぼさないでください。

3. コラールと朗唱 ソプラノ

ああ主なる神のまことにより
国は平和と安寧である。
災いの時主を呼び
憐れみをあなたに求む。
主は慰めと救いをあらわす。
主はみ力により敵を砕き助られる。
大いなる恵を為し、
罪の中にも罰せられんよおに、
足がよろめき倒れ、弱り果てる時、
いつくしみをたれてください。
またわれらが善のみを求め、
世においても、天においても
御怒りが遠ざけられんことを。

4. アリア バス

なぜ、怒られるのですか、そんなに。
なぜ、怒られる。
怒りの炎 頭上を渦巻きはじめ、
ああ、刑罰の鞭をとめてください。
いつくしみをもって
われらの弱き肉を赦したまえ。

5. コラールと朗唱 テノール

罪はわれらを破壊する。
信仰深い人たちも、
かく、涙して嘆いている。
悪魔はなおもわれらを攻める。
そお、初めから人殺しと言われている。
われらの救いを奪い、獅子のように呑み込む。
この世はわれらの血と肉も、つねにわれらをいざなっている。
この狭き道で悩んでいる。
善を阻む妨げに。
主のみがご存じでいる。

助たまえ、強めたまえ。
御手にゆだねさせたまえ。

6. 二重唱 アリア ソプラノ、アルト

イエスの苦き死を憶えてください。
父よみ子の苦痛と傷の痛みを憶えてください。
これか° すべての人になされた償いである。
常に変わらず憐れみを私にも 神よ憐れみを私にもたまえ。
わたしはくるしみあえぐ。この苦しみの時にイエスの
苦き死を憶えてください。イエスの死を憶えてください。

7. コラール 合唱

右の手でわれらを導き
町と国を祝福したまえ。
つねにみことばを賜い。
悪魔の殺戮より守り
終わり時を恵みて
永遠にみもとに居させたまえ。

1724年8月13日初演

三位一体後10

ルカ19:41-48 エルサレム崩壊の予言と神殿カニの商売
人たちの追放

1コリント12:11-11

ろばに乗ってエルサレムに入ろうとするイエスは、都の滅亡を予言して泣く。このエルサレム滅亡の予言がこの日の聖書日課であった。神の怒りに対する救いを求める悔い改めが主題となる。基本コラールはルターの主の祈り「天にまします我らの父よ」より。